

2009年6月1日

## BSE 検査月齢

**OIE 基準：36 ヶ月齢での線引き**

**EU 基準：**2009年2月より EU の 15 カ国では 30 ヶ月齢から 48 ヶ月齢での線引きに変更

2002年時点で BSE 感染牛の平均月齢は 70 ヶ月齢

2007年時点で BSE 感染牛の平均月齢は 92 か月齢

**日本の基準：**2005年8月より 20 ヶ月齢での線引き

- 経緯：
- 1 .2004年9月発表された食品安全委員会の「中間とりまとめ」により、農林水産省、厚生労働省が「飼料規制の強化」「21 ヶ月齢以上の牛の検査義務化」を食品安全委員会に諮問
  - 2 . 2005年5月に食品安全委員会が答申
  - 3 .2005年8月から 20 ヶ月齢以下の牛の BSE 検査を除外、ただし3年間の経過処置として 20 ヶ月齢以下の検査費用を厚生労働省が地方自治体に補助  
飼料規制を 2005年8月より強化
  - 4 . 2008年8月より 20 ヶ月齢以下の検査費用は地方自治体が負担

BSE 牛の発生状況：

- 1 .現状で 35 頭の BSE 牛が発見されているが、21 ヶ月齢、23 ヶ月齢以外では全てが 2001年10月以前に生まれた牛。
- 2 . 2001年9月に最初の BSE 牛が発見され 2001年10月に飼料規制を法制化
- 3 .2001年10月以降に生まれた牛では上記2頭以外 BSE 牛は発見されておらず、2005年8月に飼料規制が更に強化されたことにより、2005年8月以降に生まれた牛(2009年4月現在で 44 ヶ月齢以下)で BSE 感染牛は皆無
- 4 .BSE 牛の平均月齢は 77.1 ヶ月齢、ただし 21、23 ヶ月齢を除くと 80.5 ヶ月齢